

日塗工 整理No.(日塗工記入)	2015-42	労働災害状況調査表		
発生会社 事業所				
災害発生日時		2015年 7月 3日(金) 13時20分 頃 天候( 晴 ) 温度( °C)湿度( %)		
災害区分		不休災害 休業災害 (休業: 180日)		
被 災 者	部門	生産部 小ロットライン班		雇用形態 <u>正社員</u> 派遣、契約、その他( )
	年齢	26歳	性別: <u>男</u> 女	勤続年数 7年 経験年数 7ヶ月
	傷病名	病名 (骨折)		
	傷病部位	右手、腕の骨折(4か所)		
災 害 発 生 状 況	状況概略(写真orイラスト)			
	工場内でバックへ樹脂、溶剤の投入を終えて、紙袋原料の仕込みをしていた。			
	その際、内袋(ビニール)が入った原料を仕込んでいたところ、内袋がディスパーに巻き付き、そのまま右手も同時に巻き込まれてしまった。			
	近くで作業をしていた作業者が、異変に気づき速やかにディスパーの電源を切り、上司に連絡をした。			
	災害の型 <sup>※</sup> 5 はさまれ、巻き込まれ			
起因物: ディスパー				
原 因 分 類	1.人的要因(man)			
	仕込みの際に原料袋と回転体が接近していたが、巻き込みに対しての危険予知ができていなかった。			
	2.物に関する要因(machine)			
	回転体への接触防止カバーは取り付けられていたが、防止できるサイズ(長さ)ではなかった。			
対 策	3.環境要因(media)			
	原料袋を回転体に接近して仕込むのは作業方法不適切であった。			
	4.管理的要因(management)			
	製造作業規定の繰り返しの繰り返しの教育の不足			
対 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応急対策として、翌日、内袋入り原料を仕込む際はディスパー停止の決定と教育の実施。</li> <li>・恒久対策としては、スイッチ及びカバーの改善。</li> </ul>			
	再発防止としては定期的な教育の決定と実施。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のディスパーに対しても同様に、カバーの改善を実施。</li> </ul>			
	対策分類 <sup>※2)</sup> : 1-6(教育) 、 2-4(危険認識)			

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)